

英語のレベル

1. 日本人の英語レベルは、これから必要に迫られて間違いなく上がるでしょう。
2. TOEICの860点はひとつの目標です。
3. 継続は力となります。

国際的な比較ができる英語のテストにはTOEICとTOEFLのふたつがあります。前者は英語で仕事をする人向けで後者は留学生向けです。アジアの国ごとにこれらのテストの点数を見ると日本はほぼ最下位となっています。これはなぜでしょうか。答えは簡単で日本は国内で英語を使う必要がなかったからです。近代化の過程で幸い外国の植民地にならなかったため、日本で生きていくのに日本語だけ話せば十分でした。必要のない物に時間をかける人はいませんね。でも時代は変わりました。むしろIT産業こそ一番英語を必要としています。なぜなら日本だけでは優秀なエンジニアを十分そろえる事ができないからです。ITエンジニアの生産性は人によって軽く10倍の差があります。工場の作業員と違い、生産される物はかける時間に比例しません。人数にも比例しません。気の利いたアプリならひとりでも書く事が可能です。大きなシステムだと当然もっと人数をかけます。それでも平均レベルの百人より優秀な十人の方が成功します。

優秀な人間は海外にいます。自分が海外に行くか、海外のエンジニアと組むか、それとも海外のエンジニアを日本に連れて来るか、いずれにせよ仕事における公用語は英語になります。ところが日本人の英語レベルは国際的にみ